

2月給食だより



せつ
節

ぶん
分



節分は、「季節の分かれ目」を意味しており、もともとは「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日をさしていましたが、今では「立春」の前日だけを節分と呼んでいます。冬から春へと季節が移り変わる「立春」は、お正月と同じように1年が始まる重要な日と考えられており、その前日の節分は大みそかのような位置づけで、特に大切にされてきました。

今年の節分は2月2日です。翌日の3日(月)の給食は「節分給食」で、大豆といわしを使ったメニューです。しっかり食べて、鬼を寄せ付けないようにしましょう！

まめ 豆まき



新春に向け、悪いことを引き起こす邪気＝「鬼」を追い払うために、魔を滅する力をもつとされた豆(魔滅)をまきます。

やいかがし



鬼はいわしのにおいとひいらぎのトゲが苦手とされているので、ひいらぎに焼いたいわしの頭をさしたものを玄関先につけておきます。

たもの 食べ物クイズ

春の七草の中では「すずしろ」という名前、冬の寒さで甘みがぐっと増す野菜はどれ？

- ① にんじん
- ② だいこん
- ③ かぶ

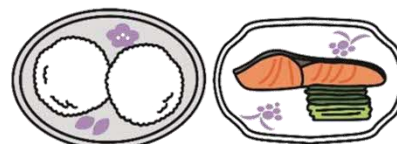


給食の歴史をろう！



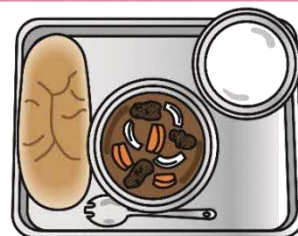
学校に来ると当たり前で食べられる給食は、いつから始まったのでしょうか？

明治22年
(1889年)



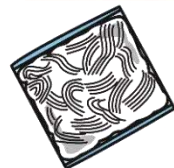
おにぎり 塩ザケ 漬物

昭和25年
(1950年)



パン ミルク カレーシチュー

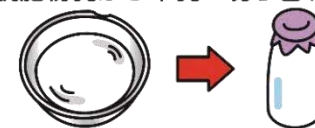
昭和38年
(1963年)



主食として、ソフト麺が登場する

昭和39～43年
(1964～1968年)

脱脂粉乳から牛乳へ切り替わる



昭和51年
(1976年)

米飯給食が正式に始まる



現在の学校給食は、今までの栄養補給だけでなく、食事の重要性やマナー、食文化など、給食から様々なことを学ぶことができる、「生きた教材」としての役割も持つようになっています。